

団員同士が和やかに 分団対抗屋内競技大会

市消防団分団対抗屋内競技大会が11月30日、土山体育館で開催されました。



この大会は、2年前の分団対抗綱引き大会に引き続き、団員の交流の場、また団結力を高める場として、消防団活性化委員の皆さんが企画・運営されたものです。

今回は、ムカデ競走と長縄跳びの2種の競技を実施。訓練時とは違った和やかな雰囲気の中、団員の皆さんが交流を深めました。

◎大会結果

総合優勝 信楽方面隊 雲井分団
準優勝 甲賀方面隊 第3分団
第3位 女性消防隊



消防団のシンボルとして 消防団旗を購入

財団法人自治総合センターの宝くじ普及広報事業の助成を受けて、甲賀市消防団各方面隊及び、女性消防隊の団旗を購入しました。これらの旗は今後、甲賀市消防団各隊のシンボルとして、消防団員とともに歴史を刻むこととなります。



いざという時のために

防災啓発の充実 視聴覚資器材を購入

財団法人自治総合センターの宝くじ普及広報事業の助成を受けて、防災広報用の視聴覚資器材を購入しました。これらの資器材を用いて、防災リーダー研修や各地域での防災説明会を行っています。市では今後とも防災の啓発に力を入れていきます。

防災対策に民間から支援

8月28日に(社)滋賀県建設業協会甲賀支部によるチャリティゴルフ大会が開催され、寄せられたご浄財23万円を、市の防災対策へご寄付いただきました。贈呈式には中嶋市長が出席、昨年に続いてのご寄付に「災害に強いまちづくりへ有効活用させていただきます」とお礼を述べました。

問い合わせ
総務課 総合防災係 ☎65-0665 FAX63-4554



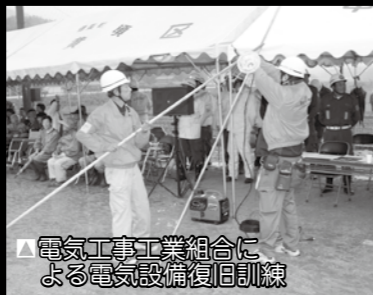
▲災害対策本部長として指揮をとる中嶋市長



▲住民が協力して要援護者を避難所へ



▲市消防団女性消防隊による応急救護訓練



▲電気工事工業組合による電気設備復旧訓練



▲管工事協同組合による給水訓練



▲エルピーガス協会によるガス供給訓練



▲建設業協会による土のう積み訓練



▼黄瀬区住民が参加しての煙体験



▼日赤奉仕団による救急搬送訓練

M7.6の直下型地震が発生

～地域連携による市防災訓練を実施～

じんくろ、Hしん



関係機関が災害時の役割を確認

午前8時、滋賀県南東部にマグニチュード7.6の直下型地震が発生したという想定で、11月16日に市の防災訓練が行われました。

訓練の現場となった信楽町黄瀬地域では100名を超える住民が参加し、消防団員や甲賀警察署員の誘導のもと避難訓練を実施。その後、初期消火訓練に取り組みました。

また、信楽町赤十字奉仕団による炊き出し訓練をはじめ、市と災害時の応援協定を締結している関係機関も参加。土のう積み、ガス供給、給水、電気設備等復旧の各訓練を実施し、災害時におけるそれぞれの役割を確認しました。

その他、市消防団と消防署による火災防衛訓練や応急救護訓練、はしご車による救助訓練なども行われ、改めて気持ちの引き締まる訓練となりました。

近年、異常気象や地球温暖化の影響により、大規模な自然災害が各地で発生しています。特に、今年5月の中国四川大地震、6月の若手宮城内陸地震などの大規模地震が発生し、各地に甚大な被害をもたらしました。

こうした、いつ発生するか分からない地震や風水害などに備えて、市では、地域住民の皆さんとの連携を基本に防災対策の強化に取り組んでいます。

▲はしご車による負傷者の救助訓練